

雲南市立鍋山小学校だより

10月号

㊦ かよく ㊧ んきょう
㊨ るき ㊩ まっしぐら



平成30年10月23日発行
校長 別所 久美子

— 平成30年度 めざす学校像 —
地域とともに歩む・創る 鍋山小学校
～小さな学校から大きな感動を～

見せつけろ！全力全開 なべっ子魂

— 第1弾 なべっ子なかよし運動会 —

どの色の応援合戦もアイデア満載。会場の皆様を楽しませてくれました。



9月29日（土）に「なべっ子なかよし運動会」を行いました。この日のために5・6年生を中心にして実行委員会を組織し、テーマ設定、プログラム作り、各色応援合戦準備と子どもたちは一生懸命取り組みました。昼休みには自発的に「〇色の人は集合してください。」と呼びかけ応援ダンスやコールの練習も重ねていました。

当日は体育館中に熱気があふれ、全ての競技を楽しむことができました。特に幼稚園児とのふれあい競技をした高学年児童がじゃんけんに負け、幼稚園児が大きなお兄さん・お姉さんを乗せたねこぐるまを引っ張る場面は、とても



ほほえましかったです。小学校と幼稚園が隣接する環境を活かして、一緒に運動会を行うことも鍋山地域のよさの1つだと感じました。また、伝統である梅ヶ香音頭には、たくさんの保護者の方や地域の方に参加していただき嬉しく思いました。会場内に大きな輪が3つでき、梅ヶ香音頭を通して、子どもたちが地域に愛され、かわいがられていることが強く伝わってきました。

この運動会をとおして、自分を表現する力が伸びたこと、自分の役割を責任をもって果たすことで協力することの楽しさや喜びを味わえたことは成果の1つです。園児やご家族・地域の方との交流をとおして、人の温かさを感じ取ったことと思います。

このように学校行事には、子どもの可能性を引き出し、それを伸ばしていく要素がたくさんありますので、常にねらいを明確にして取り組んでいるところです。「なべっ子なかよし運動会」が大成功に終わりましたことは、保護者の皆様・地域の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。また、PTA保体部の皆様には、PTA種目の相談・決定、当日の運営でお世話になりました。ありがとうございました。

10月12日雲南市バスケットボール大会



見せつける！全力全開 なべっ子魂 一第2弾 雲南市小学校 ミニバスケットボール大会一

寺領小	対	鍋山小	20対12
阿用小	対	鍋山小	18対26
吉田小	対	鍋山小	10対28
大会成績	2勝1敗	優秀賞に輝く	
個人フリースロー大会			
5年	渡部芽生さん	4位	



10日(水)の壮行式では、3・4年生を中心とした大きな声での激励を受け、頑張るぞ！という気持ちが高まりました。

雲南市バスケットボール大会においても「なべっ子魂」全力全開にしてプレーする子どもたちの姿がありました。

この大会へは、小規模校の部として、男女混合チームとして参加しました。2学期の始業とほぼ同時に放課後練習を繰り返し、個人として、チームとして技能を高めていきました。

- ・コートの中で考えて行動すること
- ・自分でシュートを打ちに行く強い気持ちを持つこと
- ・一方では、チームプレーとして、仲間を活かすパスをすること

等いろいろなゲーム場面が想定されるスポーツの特性を考えて指導を積み重ねていきました。

大会当日の朝は、子どもたちは緊張していましたが、試合をする毎に「なべっ子魂」に火がついたように、自分たちのボールを相手に渡さない、自分でシュートを打ちに行く、チャンスボール・速攻への切り替えを速くするといった積極性をたくさん見せてくれました。そして全員の子どもの勝ち取った2勝です。子どもたちも自分たちが今まで一生懸命練習してきたよかったという満足感を抱いているようでした。

会場には、たくさんの保護者の方が応援にかけつけてくださり、選手の背中を押してくださりました。ありがとうございました。

バスケットをする前から声は課題になっていました。バスケットの時大切なのは、声でした。でも私は、あまり大きな声で呼ぶことはできませんでした。なので、日常で大きな声を出しました。そのおかげでバスケットの練習でもとても大きな声が出せたし、本番でもとても大きな声が出せました。声は意識するようになりました。バスケットの大会の時に寺領小と対戦したとき、鍋山が負けていて、もうだめかなと思ったけど、最後までみんながあきらめていなかったのすごいなと思いました。なぜか知らないけれどバスケットをしたことによって反応を返せるようになりました。これからも大きな声を出したいです。

—5・6年生 ふりかえりより抜粋—

地域とともに歩む・創る

白磁工房（石飛勝久 勲様宅）にて
9月25日(火) ろくろ回し体験
10月16日(火) 絵付け体験

自分たちでつくった
お茶碗です。



ろくろ回しは、難しいよ。

子どもたちにとって、直接体験ほど心に響くものはありません。自分でつくった茶碗、こだわって描いた模様。子どもたちの思いがそこに詰められています。そんな豊かな体験活動の場を提供して下さった石飛様に感謝申し上げます。

ふるさと鍋山には、子どもたちにとっての「きらり（魅力）」がたくさんあります。卒業までにふるさと鍋山の「きらり（ひと・もの・こと）」にたくさん出会わせていきます。

30年度 学校課題 表現力向上をめざして
10月5日(金) 雲南夢ネット木次局 アナウンサー
湯浅 チカ子様 来校



「息をたっぷり吸い込んで」
「あ—————。」



このお便りで何度も「表現力の向上」を図る取組を紹介しています。今回は、11月17日(土)におこなう「なべっ子発表会」において自分たちが伝えたいことを自分の声を通してしっかり伝えられるように、「専門家に学ぶ国語授業」として湯浅チカ子アナウンサーにご指導を賜りました。

体育館のような広い場所では、自分の声を相手に届ける気持ちが必要なこと、それに加えてそのためのスキル（技術）が大事というお話をいただきました。

発声の仕方、明瞭な発音のための口の開け方、姿勢など基本的なことを学ぶことができました。

なべっ子発表会は、これまでの学習の成果発表の場です。子どもたち一人一人が声をしっかりと出し、全体をつかって表現していくことをめざします。

※この授業の様子は10月27日(土)28日(日)に雲南夢ネットビデオ投稿日より放映されます。



全国学力・学習状況調査(6年生 4月実施) の結果を受けて

この調査は、毎年6年生を対象に行われる悉皆調査です。当該学年で身につけるべき学習内容の定着度を測るために実施されています。そして、私たち教員の指導の改善(授業改善)に役立てようとするものです。

今年度の調査結果から、本校の学力向上へ向けての課題を確認し、取り組むべき事項について整理・実践を図っています。

具体的には、次の通りです。

- 1 **基礎基本の定着をさらに図ります。**
(漢字、計算、基本の公式などを計算会や自学等として反復練習をしていきます。)
- 2 **日常生活の中で敬語の指導を行っていきます。**
- 3 **学習の系統性を教員が強く意識して指導していきます。**
全教科とも学習の積み上げが大事です。前学年で学習したことをもとにしながら、当該学年の学習を積み上げていきます。
- 4 **1時間の授業でキーとなる大事な言葉が必ずありますので、それをおさえて説明することを常に意識して指導していきます。**
- 5 **文章を書く経験を重ねていきます。(日記など)**

学力向上の基盤としての基本的な生活習慣づくり、人間関係づくりなどの指導・支援もおこないながら、子どもたちの学びを支えていきます。



— なべっ子発表会へのご案内 —

11月17日(土)には、なべっ子発表会を行います。

「地域とともに創る学校」をめざすうえでも、たくさんの地域の方のご来校をお待ちしております。詳しくは、別紙ご案内状をご覧ください。

地域の宝である子どもたちのステージやふるさと鍋山に伝わる文化、地域づくりとしてのふるさとコーナーもありますので、お楽しみくださると幸いです。

— ご寄贈ありがとうございました。 —

先般「昭和43年3月 卒業生ご一同様」を代表して小林健治様、名原智亮様が来校され、子どもたちへ「図書購入代金」として五万円のご寄贈をいただきました。ありがとうございました。

大切にに使わせていただきます。

12月の主な行事

※予定が変更になる場合がございますので、ご承知おきください

3	月	三刀屋町保幼こ小中連携の取組としての「お弁当の日の取組」
5	水	個人面談 ～7日(金)
10	月	⑤分団会
11	火	県学力調査 5・6年 (国語、算数、意識調査)
12	水	人権集会
13	木	三刀屋小学校5年生との交流会 (5・6年生参加)
21	金	2学期終業式
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	11月17日(土)振替休業日
26	水	冬季休業日 ～H31年1月7日まで



